



# 1月の星空を見よう



## ★新年に 今年の天文現象を

明けましておめでとうございます。新年第一号は、2024年の天文現象をご案内しましょう。

### ●月々に 月見る月は 多けれど

月の満ち欠けの暦を太陰暦と呼びます。太陰暦で日付の決まる行事は、「伝統的七夕」や「中秋の名月(お月見)」です。

2024年は、  
「伝統的七夕」8月10日。  
「中秋の名月」9月17日です。  
また、2024年の最小満月は



3月25日、最大満月は10月17日です。

### ●流星群 夏のペルセと 冬ふたご

毎年、夏休みに流れ星を見せてくれる「ペルセウス座流星群」は、8月12日に極大日を迎えます。今年は、上弦の月が空にありますが、夜中には沈むので未明の観測ならOKでしょう。

冬の「ふたご座流星群」は、12月14日が極大日です。こちらは、満月に近い大きな月が夜空を照らしますが、それにも負けない明るい流れ星を期待しましょう。

### ●いつ見える? 夜空の明るい 五惑星

水星、金星、火星、木星、土星、この5つの惑星は、明るく輝き肉眼でも見られます。

**水星**は、太陽に最も近い軌道をめぐる惑星で2024年は、夕空で見られるチャンスが3月、7月、11月の3回あります。いずれも日の入後に西の空をご覧ください。

**金星**は、年の初めは明けの明星です。夏休み頃から夕方の西空に見えるようになり、少しずつ夕空での高度が高くなります。2025年1月に東方最大離角(夕方の空で太陽から最も大きく離れる状態)になります。

**火星**は、夏の終わり頃から明け方の空に見え始め、秋から冬にかけてゆっくりと夜中の空へ移ってゆきます。2025年1月の火星接近となります。

**木星**は、年明けしばらくは夕空で輝いています。夏の終わりごろから明け方の空に見え始め、徐々に夜中の空へ。12月8日におうし座で衝となり、真夜中の空に見えるようになります。

**土星**は、初夏の頃から明け方の空に見え始め、徐々に夜中の空へと移ってきます。9月8日みずがめ座で衝を迎えます。衝の頃は真夜中の空に見え、衝以降は、宵の空に輝きます。

#### 【2024年の惑星の見える時期】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水星	明方		夕方		明方		夕方		明方		夕方	明方
金星	明方					夕方						
火星									明方	夜中へ		
木星	夕方								明方	夜中		
土星						明方			夜中			夕方



ギャラクシティ GALAXYCITY



まるちたいけんドーム(プラネタリウム)  
〒123-0842 東京都足立区栗原一丁目3番1号  
電話03-5242-8161 URL <https://www.galaxycity.jp/>